

「舊族」
雪しばへく來たり
春おそし。
若きかゝるを
おへむむとすも
(遠もまひこ)
釈 迢空

祭儀

▽入学奉告祭・月次祭
4月1日(火)午前10時 神威

思いをつなぎ 羽ばたけ世界へ——卒業生にはなむけの言葉

本学は、平成25年度(122期生)の大学院と法科大学院それぞれの学位記授与式を、3月22日(土)に渋谷キャンパス学術メディアセンター常磐松ホールで、5学部の卒業証書・学位記と専攻科・別科の修了証書の授与式を、3月23日(日)にグランドプリンスホテル新高輪「飛天」で挙行する(卒業証書・学位記、修了証書の授与は、経済学部・法学部が当日午後1時から、文学部・神道文化学部、専攻科、別科が午後4時から渋谷キャンパスで、人間開発学部が午後1時30分からたまプラーザキャンパスで行う)。そこで、今号は「祝卒業

特集」として、122期生に対して、1・2面に各機関代表者から「はなむけの言葉」を、3面には3月末に定年退職(選択定年含む)を迎える教職員から「贈る言葉」を寄せていただいた。また、4面には122期生が過ごした大学4年間の思い出を写真で紹介、5・6面には、卒業後も利用できる、母校各部署からの連絡、国学院大学院友会の諸サービスの案内などを掲載する。また、1面には式当日に行われる祝賀会のお知らせも掲載されているので、ぜひご覧いただきたい。



もと 本立ちて道生ず

学長 赤井 益久

卒業おめでとう。学業の成就と新たな門出に際し心よりお祝い申し上げます。

「人生は直角に曲がれどは、わが恩師の戒めで角といえるでしょう。これから開ける新たな世界に飛躍するために、来し方行く末に思いを致し、しばし初心に立ち返ってほしいと思います。」

国学院大学の母体皇典講究所設立時、初代総裁有栖川宮親王の告諭には、「凡ソ学問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ」とあります。すなわち学問を学ぶ上で、物事の本質、自らの拠って

立つ基盤を究めることが最も重要であると指摘されています。

皆さんの学問の根幹には、この思いが託されています。またこの「本ヲ立ツ」は、古人言うところの「本立ちて道生ず」に由来し、根本を打ち立ててこそ、おのずと道は開け、自らの生き方や信念が定まると説いています。諸君には、これから生きる上で、このことをよく自覚していただきたいと思っています。

大学での学びは、規則や成績基準、複数の指標により客観的に判断されます。学問の世界は公平



修了こそ、新たな出発

大学院委員長 小川 直之

博士課程後期を修了し博士号を取得される方々、修士号を取得して前期課程を修了される方々に衷心からお祝い申し上げます。今年度は、大学院3研究科で後期課程は14人、前期課程は76人の修了者を出すことができました。大学院としても誇りに思っています。また、所定の単位を修得して、ひとまず後期課程を満期退学される14人の方々には、今後一層の研究を積み学位論文の提出を期待いたします。

後期、前期課程在学中は、講義や演習などを通じて知識と分析力を高めながら、自らが抱いた課

題の研究を進めて論文執筆を行い、学位を取得することが目標だったと思います。修了者はその目標に到達できたこととなります。しかし、これは一つの過程であって、学術研究の目標はもっと遠大であることを改めて考えていただきたいと思えます。そのためには、自分の研究が学術の場だけではなく、社会全体のなかでどのように位置づけられるのかを考えながら、新たな課題に挑むことが肝要だと思います。

社会の中での位置づけというのは、すべてにおいて役に立つなどの実学的なことを言っているのではなく、自分の研究にどのような大志を抱いて活動していくかということです。すでに役立つことは、逆にすぐに役立たなくなってしまうかもしれません。それぞれの方にとって学位論文が自分の立脚点であることは確かなこと、ここからもう一度、自分の志を問ひながら課題の再構築を試みていただきたい。

後期課程を修了された方々は、これからは大学だけを拠り所せず、自ら求めて多くの研究者や専門的な実務者とのネットワーク構築を進めてください。当然ながらそのネットワークは海外にも広がる必要があります。井の中の蛙は縮小再生産しか生みません。つねに謙虚さ、一方で批判精神をもちながら、自分をもっと大きな世界に放り込んでください。将来、一人でも多くの方が指導教員を乗り越えて活躍されることを願っています。



自信をもって次の一步を

法科大学院長 武田 誠

修了生のみなさん、おめでとうございます。皆さんは、これから次のステージに向かって一歩踏み出すところだと思います。強い決意をもって次のステージに向かおうとされているのだと思います。しかし同時に、この時点であわてて一抹の不安も覚えておられることも推察します。

そこで、私は、「この時点で少し立ちどまって、過去3年間を振り返ってみてください」と、あなたがたに申し上げたいのです。皆さんにとって、過去3年間の生活、そのほとんどが法律の勉強

強に費やされたはず。それほどの勉強量は、これまでのあなたの人生で経験されたことなかっただろうでしょう。その経験、そしてその結果蓄積された実力は、確実に、あなたがた各人の身に付いているのです。人に完璧を期することはできません。しかし、人にその最善の努力を期待することとは可能です。皆さんが、われわれが期待したとおりに、各人最善の努力を3年間積み重ねられてきたことは、法科大学院のすべての教職員が認識しています。その努力、その結果としての実力、

あなたがたは過去3年間の自身の軌跡に自信をもって次のステージに臨んでよいのです。私は、常日頃、皆さんに申しあげてきました。特別なことをする必要はない、壁は言われているほど高くない、日々の努力の積み重ねが成果を生むのである、と。

立ち止まって、私がここで申し上げたことの内容をふりかえりてください。そして、次のステージに向かって、新たな第一歩を踏み出したいのだと思います。さらに、蛇足、ここで申し上げるのも陳腐ではありますが、ご自身の健康にも十分に留意されたいということも、付け加えておきます。

最後に、「はなむけの言葉」として、皆さんにメッセージを送ります。「行為有価値」だけでなく「結果有価値」をも獲得してください。

式当日に行われる

祝賀会について

本学では、各卒業・修了・学位記授与式後に各祝賀会を、渋谷キャンパスとたまプラーザキャンパス(人間開発学部のみ)で次のとおり開催します。ぜひご出席いただき、先生方を囲み、同窓生との和やかな思い出の場としてください。

◎大学院・法科大学院 若木タワー有栖川宮記念ホール(午後2時から)

◎文学部 学術メディアセンター多目的ホール(午後5時から)

◎経済学部 3号館「メモリアルレストラン」(午後2時から)

◎法学部 3号館「和(NAGOMI)」(午後2時から)

◎神道文化学部・専攻科・別科 若木タワー有栖川宮記念ホール(午後5時から)

◎人間開発学部 若木21レストラン「ビルトップ」(午後2時30分から)

スマホをかざすと動画が見られる

かざすAR

- 1 iPhoneは「App Store」、Android端末は「Google Play」を開き「検索」をタップ。
- 2 検索窓に「かざすAR」と入力し検索。
- 3 検索結果から「かざすAR」を選択します。
- 4 (iPhone)「無料」ボタンを押すと「インストール」と表示され、インストールボタンをタップするとパスワード入力画面が表示されます。ご自分の「Apple ID」とパス

ダウンロードと使い方

アプリをダウンロード(無料)

ワードを入力し「OK」ボタンを押すと、自動的にインストールされます。

【Android】「インストール」ボタンをタップするとダウンロードが始まり「インストール済み」と表示されると完了です。

5 位置情報を利用しますか?と表示されるので「OK」ボタンを押します。数秒立ってカメラモードになり、画像を読み取れるようになります。

ご利用端末について

◇iOS 4以上を搭載したiPhone、iPadおよびAndroid OS2.2以上を搭載したAndroidに対応しています(一部対応していない端末もあります)。

◇ダウンロードは無料ですが、通信に費用がかかる場合があります。

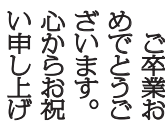
◇通信環境によって、写真にかざした後、コンテンツが再生されるまで時間がかかる場合があります。

QRコードを読み込める機種では左のQRコードからかざすARの無料アプリを入手できます。

左のマークが付いた写真などにスマホをかざしてみましょう

今冬は寒冷と言われたが、暦が巡れば必ず温暖な春が訪れる。今春の3月も本学から卒業生・修了生が旅立つ。この場を借りて、お祝い申しあげる▼ドイツの作家ヘルマン・ヘッセの小説「ペーター・カメメント」は元学長の芳賀矢一先生のご子息であるドイツ文学者の芳賀檀氏が「郷愁」と訳して以来、その名称で親しまれている。その邦題のとおり、故郷を持つものを共感させる小説である▼地方などの具体的な故郷を持たずとも、人々は過去の原風景が存在する。近所の公園や雑木林の裏山もそうであるが、近代小説にたびたび登場する路地裏なども、ただの生活空間ではなく、人によっては原風景となる▼原風景は成長すればするほど心に思う郷愁の場となる。この基点があるからこそ、自己形成・自己陶冶へと進むことができる。先の『郷愁』でも主人公ペーターは、大学進学とともに都会生活を送るが、ついで故郷を忘れることはなかった。誰しもが心に故郷への思いを秘め、それを糧に人生を歩んでいる▼卒業生・修了生の皆にとって、この春から本学は母校となる。帰るこのことができる故郷になる。今後の活躍を祈念するとともに、時あるごとに母校である国学院大学を思い出していただきたい▼渋谷の丘でたたまプラーザの街での再会を期して、改めてお祝いしたい。卒業・修了、おめでとうございます。

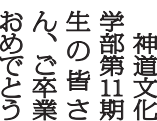
文学部長 野呂 健



がらも固執せず、自分に最も合うようにアレンジして自分のものにする」ということです。忘れては意味がありません。どんな分野でも、不可欠な基本があるはずですが、

今、若木が丘から飛び立とうとしている前途洋々たる皆さんに、一つアドバイスがあります。皆さんは、国学院に在籍していた間に、多くのことを学ばれたはずです。その道に秀でた誰一人として同じやり方はいません。自分の体や感性に最も合うように微妙な修正を加えて、「自分なりの最適な」やり方を編み出しているのです。その創

神道文化学部長 石井 研士



贈りたいと思います。

神道、宗教には多くの格言・名言があります。「清明心（キヨキアカキココロ）」、「慎（ツツ）しみて怠（タラ）ることなか

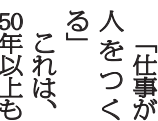
めて自分のものになるのです。unlearnは、「学んだことを忘れる、捨て去る」といった誤解を招きかねない訳が辞書には載っています。私が考える本当の意味は、「学んだことを踏まえながら、」

ぐざいます。これからは高い品格と誇りを持って、一般社会、神社界、宗教界で活躍されることを心より祈念いたします。

社会へと出て行かれる皆さん方に、一言励ましの言葉を

れ、「元元本本」などは今後の人生にもおおいに有益な言葉だと思えます。宗教者では、孔子は「知者は惑わず、勇者は懼れず」といいましたし、マルティン・ルターは「恣なき人生は死するに等

経済学部長 尾近 裕幸



仕事ではおまのまのまなごに
直面するでしょう。しかし良
い時もおおらず、悪い時も腐
らず、常に自分自身を真っ直
ぐ立たせていたきたい。その
重心となるのが、私たちの

卒業される皆さんは、それぞれ何らかの仕事に就かれることでしょう。それは必ずしも自分が希望したものではないのかも知れません。それでも、与えられた仕事に真摯に情熱をもって取り組んでください。何よりの仕事で信頼さ

進む先を光となって照らす「建学の精神」です。それをこれからの人生の拠り所としてください。そうすることが、皆さんが国学院大学で学んだという証なのです。

本学の建学の精神は、母体となった皇典講究所の開式式

意工夫・修練の過程で、進歩が生まれるのだと思いますし、個性が生まれるのだと思います。しかし、個性・独自性が強すぎて、基本の中核を踏み外すと、すべてが崩れてしまいます。

し」といっています。
私が皆さんに贈るのは、「山野を跋涉し、新しい領域を捜そう」という言葉です。この言葉を述べたのは、戦後の宗教学を代表する研究者である柳川敏一先生です。本学

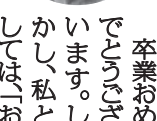
適切な「アンラーン」をすることによって、皆さんは一段と高い踏み台に上ってスタ

の教員も勤められたことがあります。私の師匠にあたる先生です。

「トできると思います。そして、混沌としている社会の牽引者になって、皆さんに相應しい役割を果たすことができるはずですよ。」さあ、これからは皆さんの出番です。」

「つらいときはじっと実力をつける努力をして時期が到来するのを待つべきだ、という母親的な発想も確かにいいだろう。しかし、混乱と化した時代の中では、人がまた手を

人間開発学部長 **新富 康央**



皆さんは、それぞれの職場で、社会で、家庭で、それを一つずつ具現化してくなさい。ここで、「人間開発」の視点から、「はなむけの言

めでどう」と言う前に、「あ
りがとう」と言わなければな
りません。人間開発学部2期
生として皆さんを迎えた時、
学部創設2年目であった私た
ち教員も、2年生でした。ま
さに「師弟同行（していどう）
葉を二つ贈ります。
それは、「僕がいて、君が
いる。それだけで十分だ。さ
あ、始めよう」（エルンスト
・ブロック）という言葉で
す。社会に出て活動するに
は「孤高に生きる」とこち

余儀なくされます。しかし、志を高く持っていれば、必ず同じ志を持つ者があなたの前に現れます。「それで十分」なのです。とりわけ、本学・本学部の4年間のキャンパスライフで楽しい出逢いを、絆を、卒業後も大切に育んでください。

卒業後も、「愛する自分を大切に」して、社会の各分野で活躍されんことを祈ります。皆さんが明日、これまで培った成長の種子（シース）から、どのような花を咲かせるのか、楽しみにしています。

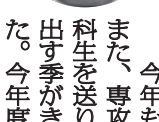
存在なのだとすることである。しかし、何をしなくとも近い存在だぞと思つてはならない。努力して少しでも神に近づこうとする決意と行動を前提としての話である。逆説的な言い方かも知れないが、神から、お前は近づくな、と言われない存在になること、それが神に選ばれし者と言えなくもない喜びの中の一自覚であり、神のための日々を送ろうとする覚悟につながるのだと思う。

晩年者の多かった今年の専攻科生に、もう一言伝えておきたい。他にやりたいことがあった、自分から進んで来た

と多趣味の人が多い。稀に武骨というか、その道だけで名人大家の名を擅にした人もいゝる。どちらかといへば多趣味はよいと思うし、武骨な私には羨ましい。ただ、同時に二つ三つのことはできない。時と処に依じてそのときすべきことに集中せよと言いたい。それが神祀りと重なったとき、神に選ばれし者という自覚が生じ、神一筋の心を導いてくれるのではなからうか。

家系、出会い、神との縁が、神職の道に誘ってくれたという話はよく聞か、それは入口の話である。これからが本当の神職としての第一歩

專攻科長 嵐義人



は概して大人しく、やる気があるか無いか表面からうかがえない者が多かった。しかも

今年も 専攻科生を送り出す季節がきた。今年度



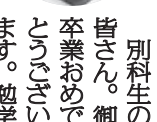
し、世に出てからは頼りになる存在になるであうことを事も疑わぬ。

さて、標題を誤解しないでほしい。私はこの現代に選民思想を唱えるものではない。私の念頭にあるのは、神職は一般の人より少しは神に近い

別科生の
皆さん。御
卒業おめでとうござい
ます。勉学
と神社実習との生活を無事乗

別科長 茂木 貞純
ました。
こうした清浄と正直、明る
さを尊ぶ気風は、祭りの伝統
の中から生まれてきました。
清潔好きで正直な日本人像
は、神代からの伝統のうえに

別科長 茂木 貞純

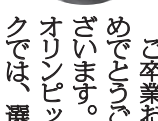


のか、何ができるのか、どう
あらねばならないのか。君た
ち自身、責任をもって決め、
実現していく立場になります。
す。これから、ただ反発する
のではなく、君たち自身が
「秩序」を決めなくてはなり

と神社実習との生活を無事乗り越えて、神職資格を得て社会に旅立つことになりました。今後の活躍とご健康を心からお祈りいたします。また、志を高く掲げて上位の階位を目指すのもよいでしょうし、研修を重ねて常に能力の向上を心がけてください。

は、神代からの伝統のうえには、磨かれ形造られてきたのです。こうした良き伝統は継承され、発展させて行かなければなりません。それ故に神職として、第一歩を印される諸君に、「いつも明るく清潔で正直であれ」とはなむけの言葉を送ります。

法学部長 宮内 靖彦



ご卒業おめでとうございます。
オリンピックでは、選手たちが口々に「感謝を示すために」メダルを取りたいと答えるのが印象的でしたが、

皆さんが卒業するにあたって、まず、皆さんを支えてくださった親御さん・ご家族・周囲の方々に感謝していただき。君たちがこれまで来られたのは、その方々の支えあったことであり、君たちが知らないところでカバーして

享受することです。君たちを支援してくれた方々へ、その真の感謝も、そうして初めて表明できますし、これが、君たち自身が、君たち自身の社会・世界を創る基礎です。そのために、何が必要なのか、何をしなくてはならないか、

大学では、法律学や政治学を通じて、その能力を育ててきました。能力はついたでしょう。また、覚悟はできたでしょうか。これから、わくわくする活動が見られることを期待しています。

文武天皇は即位の宣命の中で、臣下の者たちに「明き淨き正しき誠の心」をもって、国政を謹み怠ることなく、補佐してほしいと、お述べになられています。古くから清らかな心で明るく正直で素直な心こそ、私たちの理想とされてき

理解につなげていくのは、これから諸君の仕事です。社頭での地道な教化活動が、求められるところです。諸君に期待を寄せている人が、たくさん居ることを肝に命じて、着実に成長して、神道興隆のため尽力してください。

自ら道を拓く人となれ

退職教職員からの贈る言葉

この3月をもって本学を去る方々の中から、定年退職（選択定年を含む）される教職員に、12期生や在学生、教職員への「贈る言葉」を頂戴いたしました。なお、今号で紹介しきれなかった退職教職員については、次号で掲載する予定です。

異物が真珠になる日まで

文学部教授 松尾 葦江



石の上に
も3年、と
いう彫があ
りますが、
私は人生で
一区切りの単位は15年ではないかと考えています。人によって多少の相違はあるでしょうが、新しい人間関係が安定するにも、一仕事のめどが立ち、成果が出始めるにも、15年くらいの時間が必要で、しかしそのあたりで油断すると思わぬつまづきが起こったりするのではないですか。国学院大学で私が仕事をしたのは12年間で、しかし40年以上前から国学院出身の方々とさまざまな出会いがあり、自分とは異なる学風、異

そなえよつねに

法人事務局長 加藤 元茂



昭和47年
に大学の職
員として奉
職し、この
3月で42年
間本学にお世話になりました。私は、通学路の近くに住んでおりましたので、本学は子供の頃の遊び場でした。その頃の校舎は古風な建物であったと記憶しております。そして本学を卒業し、神職資格も得て、神殿の祭儀にご奉仕することができたことに感謝しております。

また、父は神職資格を持つ大学の職員（昭和16年から同

日々勉めよ

文学部教授 上田 正行



卒業、お
めどうご
さいます。
何回も校
門をくぐっ
た生活ともいよいよ、お別れです。ほとんどの方がこれからは社会という場でこれまで培ってきた力を試すことになり。しかし、16年間の学校生活で身につけた知識や教養が直載、すぐに役立つわけではありませぬ。試行錯誤を繰り返して、与えられた状況の中で何が最善の方法か、解決策は何かを絶えず問われることとなります。

自立して未来に向かって大きく羽ばたこう

法学部教授 横山 實



私は少年
法や犯罪学
などを教え
ていました
が、環境問
題などの社会問題に関心をもち、3月末で定年退職します。学生の皆さんに、未来に向かって大きく羽ばたいてもらうために、

達成感そして健康第一に

図書館事務課
（たまプラーザ担当）書記 大友 律子



この度、
約40年間お
世話になっ
た大学を3
月末日をもち、
退職することになりました。時代の変化に対応しながら、学生との関わりや職場におけるさまざまな人々との出会い、別れがあり、多くのこ

思い出多い半世紀

人間開発学部教授 海老沢 礼司



私は、昭和41年に奉職し、約半世紀、国学院大学とこ
もに生活したことになる。振り返ってみれば、大学のためにどれほど役に立ったことをしてきたか、ただ、馬鹿を重ねただけと、心残る思いがある。私が勤務した年に田園都市線が開通、翌年は八王子校舎へ、平成8年には相模原キャンパスができ、毎週、たまプラーザ、渋谷、相模原キャン

大学院博士課程後期・法科大学院修了者氏名

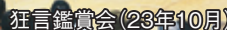
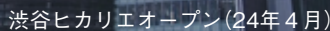
大学院博士課程後期
文学部研究科＜神道学専攻＞
坂本直子、田口祐子＜神道学＞、宗教学専攻＜吉野亨、パ
ロツ・ベル・マリア・イザ
ベル＞＜日本文学専攻＞東城敏
毅、荒木優也、中野真樹＜文
学専攻＞岡田誠＜日本史学専
攻＞中澤恵子＜史学専攻＞薬
瀬大輔、溝口優樹、速水大、

所属別12期生数

◎学部9月卒業含む◎
◎文学部研究科＜神道学専攻＞
部831人、哲学専攻67人、史
学専攻243人、日本文学専攻
34人、中国文学専攻55人、外
国語文化専攻132人、経済
学部578人、経済学専攻23
7人、経済ネットワーク・キン
グ学専攻167人、経営学専攻17
4人、法学部＜法学専攻＞59
5人、法律専攻498人、法
律専門職専攻36人、政治専攻
57人、フレックスBコース4
人、神道文化学部＜神道文化
学専攻＞189人、人間開発学部
225人、初等教育学専攻11
6人、健康体育専攻109人
（学部合計2418人）
◎専攻科＜神道学専攻＞神道
学専攻33人（専攻科合計33人）
◎別科＜神道学専攻＞神道
学専攻11人（別科合計11人）
【総計2578人】

◎文学部研究科＜神道学専攻＞
坂本直子、田口祐子＜神道
学＞、宗教学専攻＜吉野亨、パ
ロツ・ベル・マリア・イザ
ベル＞＜日本文学専攻＞東城敏
毅、荒木優也、中野真樹＜文
学専攻＞岡田誠＜日本史学専
攻＞中澤恵子＜史学専攻＞薬
瀬大輔、溝口優樹、速水大、

◎文学部研究科＜神道学専攻＞
部831人、哲学専攻67人、史
学専攻243人、日本文学専攻
34人、中国文学専攻55人、外
国語文化専攻132人、経済
学部578人、経済学専攻23
7人、経済ネットワーク・キン
グ学専攻167人、経営学専攻17
4人、法学部＜法学専攻＞59
5人、法律専攻498人、法
律専門職専攻36人、政治専攻
57人、フレックスBコース4
人、神道文化学部＜神道文化
学専攻＞189人、人間開発学部
225人、初等教育学専攻11
6人、健康体育専攻109人
（学部合計2418人）
◎専攻科＜神道学専攻＞神道
学専攻33人（専攻科合計33人）
◎別科＜神道学専攻＞神道
学専攻11人（別科合計11人）
【総計2578人】



ます。

若木育成会が成績優秀者を表彰

若木育成会（佐野睦仁会長）は、平成25年度卒業・修了生で優秀な成績を修めた次の学生（敬称略）を表彰する。表彰式は卒業式終了後、同じ会場の「飛天」で行われる。

◇文学部Ⅱ西脇志文、松永純華◇経済学部Ⅱ菅井仁、原島梓◇法学部Ⅱ川村正衡、佐久間明子、手塚大二郎、眞柄悠乃、松山諒子◇神道文学部Ⅱ櫻田祐生、島崎千里、鈴木亜莉紗、森健司◇人間開発学部Ⅱ佐直由佳、篠崎理紗◇専攻科神道学専攻Ⅱ宇佐美直孝、岡部佐樹子◇別科神道専修Ⅱ田中靖浩、山口絵里

神職資格課程成績優秀者

神職課程に学び、成績優秀な平成25年度卒業・修了生に対して神社界から、次の各賞が贈られた（敬称略）。

◇神宮大宮司賞

▽宇佐美直孝（神道学専攻科）▽矢内敬司（神道文化学科）▽鈴木亜莉紗（神道文化学科）

◇神社本庁統理賞

▽岡部佐樹子（神道学専攻科）▽中村美紀（神道文化学科）▽唐松由季（神道文化学科）▽田中靖浩（別科神道専修Ⅱ類）

◇東京都神社庁長賞

▽山崎富美子（神道学専攻科）▽竹林英彦（神道文化学科）▽齊藤美姫子（神道文化学科）▽山口絵里（別科神道専修Ⅱ類）

教職員人事

「退職」（3月10日現在）

◆定年

◎法人事務局▽加藤元茂（事務局長）◎文学部◇教授▽松尾章江◇教授（特別専任）▽上田正行◎法学部◇教授▽横山貴◎人間開発学部◇教授▽海老沢礼司▽矢吹省司

◆自己都合（選択定年含む）

◎経済学部◇教授▽鬼丸朋子◇准教授▽三溝博之◎法科大学院◇教授▽花立文子▽蛭田孝雪◇教授（特別専任）▽若林諒◎研究開発推進機構◇助教（特別専任）▽伊藤慎二◎大学事務局◇専任▽菅原良樹（財務部管財課主査技師）▽小田一美（学生事務部学生生活課学生相談室主任カウンセラー）▽大友律子（学術メディアセンター事務部図書館事務課書記）

◆任期満了

◎文学部◇助手▽中村耕作◎人間開発学部◇助手▽阿部弘生◎大学事務局◇嘱託▽山田輝（総務部総務課）▽出合文子（学生事務部学生生活課学生相談室）以上3月31日付

卒業生へ重要なお知らせ

校友課

◎住所などの変更

卒業後に住所・勤務先などに変更が生じた場合は、校友課（ハガキ、電話03・5466・0131、FAX03・5466・0185）まで、または、本学ホームページから、ご連絡をお願いいたします。

◎各種調査・個人情報について

本学が、電話や郵便物で卒業生の皆さまの個人情報について調査を行う場合は、「渋谷キャンパス住所および本学校友課名」において、実施いたします。返送先および連絡先も本学宛となります。

国学院大学をかたり、住所・電話番号などの個人情報を集める業者があるようです。郵便物や電話により、ご本人のいない時に情報を聞き出す場合もありますので、万一、このような郵便物・電話などによる連絡があった場合には即答はせず、本学校友課までお問い合わせください。

また、現在、大学では卒業生名簿の作成・販売・閲覧サービスは行っておりません。

教務課

◎証明書の発行方法

各種証明書の発行方法は、本学内の証明書自動発行機（在学当時の学籍番号とパスワードによる）、郵送、窓口の3通りとなります。原則として申請日から3業務日後（長期休暇前後は、さらに時間を要する）の発行となります。英文証明書については、1週間後の発行となります。

申請の際は身分証明書（健康保険証や運転免許証）をご用意ください。手数料は各証明書とも一通400円（英文証明書は1000円）。郵送希望の場合は別途送料がかかります。氏名などに変更があった場合は申請時に戸籍抄本を添えてください。詳細は電話（渋谷キャンパス☎03・5466・0137、たまプラーザキャンパス☎045・904・7703）または、本学ホームページでご確認ください。

◎卒業論文の返却

必ず、各指導教員から返却を受けてください。

図書館

◎利用方法について

卒業後も渋谷・たまプラーザ両キャンパスの図書館（館内での閲覧、貸出、文献複写）が利用できます。希望者は図書館カウンターでお申し込みください。次年度4月末まで有効の「図書館利用者カード」（両館で使用可）を発行します。カード発行には、運転免許証など現住所が確認できる身分証明書（写し可）が必要で、貸出冊数は和・洋書ともに5冊、日数は14日間です。遠方にお住まいの方で文献複写が必要な場合は、文書による申し込みもできます。問い合わせは図書館事務課（☎03・5466・0159）まで。

就職担当3課

（キャリアサポート課・教職センター・たまプラーザ事務課）

◎卒業後も協力を、進路未定者は相談を

ご卒業おめでとうございます。就職担当3課一同、皆

さまのご活躍を祈念いたします。

新卒業生には、今後、本学在学生の就職活動について、企業・公務員・教職を問わず、何かとご支援・ご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

また、卒業後の進路未決定者には、継続して相談に応じておりますので、お気軽にご利用ください。

入学課

◎院友子弟等特別選考入試

国学院大学では、本学卒業生の子弟などを対象とした「院友子弟等特別選考入学試験」を実施しています。

出願資格は、高等学校（中等教育学校含む）を卒業見込みあるいは卒業、または高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められ、本学の学部・大学院・専攻科・別科などを卒業・修了した者の二親等以内の親族（配偶者・姻族含む）で、本学への入学を第一希望とする者。本学・本法人・姉妹法人の現職専任教職員についても卒業生に準じます。本学進学を希望するご親族の方がいらっしゃいましたらご案内ください。

学生生活課

◎日本学生支援機構奨学金返還者へ

日本学生支援機構奨学金の貸与者は、次の要領で返還を円滑に行ってください。

①住所・氏名・勤務先・連帯保証人などに異動があった場合は、支援機構にその都度連絡してください。その際は奨学生番号が必要となるので、「返還確認票」、「返還のてびき」を大切に保管してください。

②返還困難な状況が生じた場合は、滞納せずに支援機構に速やかにご相談ください。

エクステンション事業課

エクステンションセンターでは、生涯学習の学びの場として、渋谷・たまプラーザ両キャンパスを会場に毎年オープンカレッジを開講しています。院友の場合、入会金（入会年度を含め4年間有効）が5000円のところ3000円、更新料が3000円のところ2000円の割引料金を適用いたします。会員には、毎年のオープンカレッジ、公開講座など本学主催講座（会員料金で受講可能な講座もあり）の案内を無料送付いたします。

在学中に教わった教員も講座を担当していますので、卒業後も引き続き、恩師と交流を持つ場として受講してみてはいかがでしょうか。皆さまのお申し込みをお待ちしています。

詳細は、エクステンションセンター（☎03・5446・0270）、または、本学ホームページからお問い合わせください。

総務課

◎「指定寄付金」にご協力をお願い

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性のある教育研究体制を確立するため、広くご寄付を募っております。皆様方にはご理解とご協力をたまわりたくお願い申し上げます。

なお、本法人への指定寄付金は次のとおり税制上の優遇措置を受けることができます。

個人所得税については、特定公益増進法人への寄付金としての「所得控除」、または一定要件を満たした学校法人などへの寄付金としての「税額控除」のうち、いずれかの制度を寄付者が選択し、確定申告を行うことで所得税が減免されます。なお、多くの場合「税額控除」を選択した方が減免が大きくなります。

個人住民税については、お住まいの自治体が条例により本法人への寄付を税額控除の対象と指定している場合に限り、確定申告を行うことで住民税が減免されます。

法人からの寄付については、特定公益増進法人に対する寄付金として扱われ、所定の計算式に基づく限度額まで該当事業年度の損金に算入することができます。

寄付金の申し込みと納付が確認できましたら、本法人発行の領収書と文部科学省発行の証明書をお送りしますので、確定申告などの税務手続きを行ってください。

なお、寄付金のお申し込みや手続きについてご不明な点があれば、総務課までお問い合わせください。

◎遺贈による寄付制度

「遺贈による寄付制度」とは、院友（本学卒業生）・在校生のご父母・教職員・一般篤志家の方々が所有されている資産の一部を、将来遺贈の形でご寄付いただき、本法人の教育研究活動のより一層の充実発展のためにご支援いただく制度です。

本法人では、この制度を実施するにあたり、三井住友信託銀行と協定を結びました。

本制度のご利用を希望される場合は、総務課または最寄りの三井住友信託銀行までご一報くださいますよう、ご案内申し上げます。

総務部総務課（寄付金担当）☎03・5466・0111

広報課

◎学報の定期購読を

卒業後も本法人・母校のニュースをタイムリーに伝える本学の機関紙「国学院大学学報」（別冊K：DNA含む）をぜひご購読ください。年間購読料は500円（送料込み）。郵便局の振替用紙（振替口座番号＝00110ー7ー7701）で通信欄に「学報購読料」と「購読開始年月」をご明記の上、お申し込みください。

◎ホームページも

卒業後も母校のホームページにアクセスして、母校主催の各種イベントや研究活動、部会の活躍、日々のキャンパスを綴る「取材日誌（今日のニュース配信中）」など、「国学院大学院友会」のホームページとともに、ぜひ定期的にチェックしてください。

◎情報をお寄せください

卒業後、ご自身はもちろん、皆さまの周囲で学術・文化・芸術・スポーツ・社会活動などで業績を挙げた本学関係者について、ご一報ください。本紙や本学ホームページで紹介します。

また、本紙では院友、本法人傘下教育機関教職員の著書を「出版情報」または「新刊紹介」のコーナーで紹介しています。ぜひ、情報をお寄せください。

◎国学院雑誌購読を

卒業後も「国学院雑誌」の定期購読を受け付けています。年間購読料は3240円（送料込み）です。購読に関するお問い合わせは、広報課（☎03・5466・0130）まで。

国学院大学院友会へ

ようこそ

国学院大学の同窓会

国学院大学の卒業生は、「院友」と称され、一般財団法人国学院大学院友会（吉田茂穂会長、昭和40卒・73期政経、昭和41修・74期神専攻）の会員となります。平成26年3月1日現在、院友の総数は13万8千人を超えています。また、すべての都道府県に支部があり（学術関係、マスコミ関係、経済学部関係、法学部関係と職域などに分かれた協力団体も組織されている）、合計59支部で構成されています。

本会の活動は、母校・国学院大学の設立の趣旨を発揮し、本会の発展と国学院大学の隆昌に寄与することを目的としています。本会ではこの目的を達成するた

院友会館を 「ご利用ください」



握に努めています。住所が判明している院友には、機関紙「院友会報」をお送りしていますので転居の際には必ず住所変更を届け出てください。

また、ホームページも開設しています（URL別項参照）。院友の情報や母校スポーツ部会の情報、箱根駅伝出場時の応援体制など、さまざまな情報が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

祝電サービス 実施中

院友会では結婚される院友・院友の一親等以内のご家族の方々に祝電を贈っています。申込者・結婚される方それぞれのお名前（ふりがな）を住所・電話番号・卒業期、院友のご家族の場合は続柄・結婚式の日時、お届け先の住所・電話番号・会場名（ふりがな）を正確に明記の上、ハガキまたはFAXで1週間前までに院友会事務局電報サービス係（TEL 50-0011 東京都渋谷区東4-12-8、FAX 03-3400-7996）までお申し込みください。

院友会報・ ホームページ

院友会では、本学校友縁と連携して院友の住所の把握に努めています。住所が判明している院友には、機関紙「院友会報」をお送りしていますので転居の際には必ず住所変更を届け出てください。



昨年の院友大会の様子

5月24日は院友大会 新卒業生もぜひ 最初の同窓会に

院友会では、平成26年度国学院大学院友大会を、5月24日（土）にランドプリンスホテル新高輪の大宴会場「飛天」で開催します。

当日は、午後5時から講演会（一般公開・入場料無料）を開催（受付は午後4時から）。講師は奈良大学文学部教授の上野誠氏（平成2修・98期博後日文科）。「万葉びとの対話 グローバル化のなかで」と題して約1時間にわたり、母語の能力やグローバル化する社会に対応できる思考を万葉びとの対話からひもときます。

午後6時から懇親会。会費は1万円です。120期生から122期生（新卒業生）までの院友の会費は割引料金の3000円となっております。同伴家族や在学生・留学生への割引料金もありますので、特に新卒業生は最初の同窓会の機会として、お誘い合わせの上、ぜひ出席ください。また、仲間でお集まりの場合、テーブルをご用意しますのでお申し付けください。

格安な料金で 自然や温泉を満喫

2つの厚生寮をご利用ください

本学では、卒業生に対して本学所有の厚生寮である叢隠寮（神奈川県足柄下郡箱根町）、蓼科寮（長野県北佐久郡立科町）を格安の料金で開放しています。



④落ち着いた雲田気の叢隠寮
⑤大自然に囲まれた蓼科寮

叢隠寮は故折口信夫博士（釈迦空）の別荘であった叢隠居を昭和33年に大学が譲り受け、これを保存するとともに宿泊施設を増築したもので、趣のある天然温泉も設置され、ゆっくりとくつろげる施設です。宿泊料金は5150円（入湯税込）。

蓼科寮は長野県の蓼科高原にあり、夏は近くにある御泉水自然園の散策、冬はスキーと四季折々の自然を満喫できます。また、敷地内にはバーベキュー棟もあり、大人数で楽しむことができます。料金は4000円（宿泊棟使用料、冬季は暖房費が別途加算）。各寮ともにチェックインは午後3時、チェックアウトは午前10時です。

お申し込みは、ご利用日の3週間前から本学人事課（TEL 03・5466・0105）で受け付けています。受付後、各寮の利用案内・申込書を送付します。詳細は本学ホームページでも案内しています。ぜひご家族やご友人とご利用ください。

国学院大学院友会のあゆみ

◎創設の頃

明治15年8月に国学院大学の母体・皇典講究所が設立され、20年にその卒業生が「水穂（みずほ）会」を結成したのが本会の原点です。23年に「国学院」が皇典講究所の教育機関として設置され、27年にその卒業生によって「水穂会」とは別に「院友会」が組織されました。その後、2つの会が共に活動するようになり、今日では「院友会」として統一されています。

◎院友会館と財団法人の設立

院友の団結は他大学に類を見ないほどで、各地・職域で活発な活動が続けられました。昭和6年には大学に隣接



旧院友会館

した現在地に1085㎡の土地を求め、組織も財団法人となり、7年には初代会長・宮西惟助氏の推進によって「院友会館」（627㎡）が鉄筋コンクリート造2階建てで建築され院友会活動の本拠地となり、卒業生・学生・教職員の会合などにも盛んに使用されました。55年ごろから会館の老朽化・狭隘化などにより新たな会館建設の議が起こり、第9代・小林武治会長のもと60年度から募金を開始。61年4月に着工、62年4月には現在の新会館が竣功し、平成24年に開館25周年を迎えました。

◎地域発展の使命を

新しい会館の完成とともに、全国の院友の間に組織の強化・活動の活発化への新たな息吹が張り始めました。新会館は、院友の活動の拠点としてのみならず、学術・文化・芸術活動の場としても利用されています。約14万人におよぶ会

員の方々の協力により、若い世代へと本会が飛躍発展する気運が興り始めております。

さらに国際交流や学術・文化教育への振興・助成活動に力を注ぐ計画も準備、母校の発展に加え地域の発展にも資する使命を発揮しています。

◎「一般財団法人国学院大学院友会」へ移行

平成18年5月に「公益法人制度改革関連3法」が成立したことにより、新しい制度に移行すべく『定款』（法人の基本規則）を作成し、内閣府への移行認可申請を平成24年6月15日に行いました。その後、内閣府で許可証が交付され（同年9月19日付）、同年10月1日付で「一般財団法人国学院大学院友会」の登記を行い、新たな組織として再スタートしました。

「水穂会」結成が原点

国学院大学生協 からのお知らせ

■卒業アルバム

現在、卒業アルバムの購入を受け付け中です。

先にお送りした郵便為替用紙（渋谷店舗でも配布中）が郵便局備え付けのものをご利用いただき、通信欄に、学部・学科・学籍番号・郵送先住所を明記の上、左記によりお申し込みください。送付は平成25年8月末ごろになります。表紙の色は紺です。

なお、保護者の方が購入された場合、本人が写っていないと連絡が寄せられることがあります。写真撮影をされているかをご家族で確認してください。

◎振込先（加入者名・口座番号）国学院大学生生活協同組合・001501-615015228

◎金額 1万3500円（消費税・送料込）

◎お問い合わせ先 国学院大学生生活協同組合（TEL 03・5466・0169）

◎申込締切日 3月28日（金）

◎オリジナルスウィーツやオリジナルグッズを販売「国学院どらやき」（1

500円）、株式会社コロ



左から、国学院どらやき、「こくびょん」グッズ、国学院クッキー

ンパンとの企画による「国」の両オリジナルスウィーツ、また、ぬいぐるみをはじめとした国学院大学マスコット「こくびょん」の各種グッズや、ブルゾン、フリースマフラー、キャップなどの本学オリジナル駅伝応援グッズを販売しています。配送も承っておりますので、電話（TEL 03・5466・0169）もしくはホームページ（http://www.kgc.coop.jp）からお問い合わせください。

ご卒業おめでとうございます

卒業生へお知らせ

本学の各部署・生協から122期生の方へ、院友（本学卒業生）としてご利用いただける本学のサービスなどの案内、連絡を掲載します（5・6面参照）。

また、本学・国学院大学若木育成会・国学院大学院友会の三者から記念品として、5学部・専攻科・別科の新卒業生・修了生に、在学中の母校の出来事を振り返ることもできる、本紙「縮刷版」（平成22年4月（平成26年4月収録）を贈ります（9月下旬より発送予定）。



さらに式当日に大学院・法科大学院の新修了生・単位取得満期退学者には、本学から「オリジナル図書カード」と「オリジナル麻ふきん」、5学部・専攻科・別科の新卒業生・修了生には、本学から「オリジナルペンケース」（写真右）、若木育成会からは「オリジナル名刺入れ」（同左）を贈ります。